

ジメチルスルホキシドの分解度試験成績報告書

1. 試験期間 昭和51年6月28日～昭和51年9月30日
2. 試料名 ジメチルスルホキシド(試料名K-231)  
 分子式  $C_2H_6OS$   
 構造式  $\begin{array}{c} CH_3 \\ \diagup \\ S=O \\ \diagdown \\ CH_3 \end{array}$   
 性状  
 比重(25℃) 1.093以上  
 純度 99.0%以上  
 溶解度 水に易溶  
 (提示資料による)

3. 試験方法及び条件

環 保 業 第 5 号  
 薬 発 第 615 号 } 微生物等による化学物質の分解度試験による  
 49基局第 392 号

3.1 試験装置

酸素消費量自動測定機

3.2 酸素消費量測定

3.1の記録による

3.3 生分解試験後の直接定量法

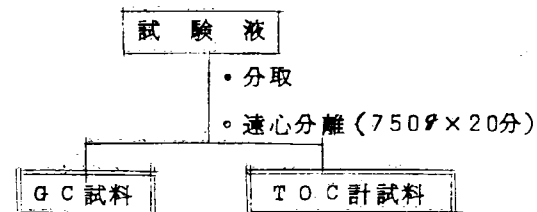
(a) 使用分析機器

全有機炭素分析計

ガスクロマトグラフ 検出器 FID

以下次頁に続く

(b) 分析試料の前処理



(c) 分析条件

全有機炭素分析計(TOC計)

流速 TC回路 200 ml/min

温度 TC炉 890℃

ガスクロマトグラフ(GC)検出器 FID

キャリアガス  $N_2$

充てん剤 5% Tween 60/クロモソルブ G

ガラスカラム 2 mmφ × 1 m

カラム温度 130℃

4. 試験結果

	分解度(%)	付 図	付 表
酸素消費量による結果	3.1	1	—
TOC 計による結果	(-)※	2	1
GC による 結 果	0.3	3	2

※ 負の値を得たので(-)とした。

5. 備 考

供試物質の比重は1.093である為27  $\mu$ l 分取し、試験に供した。  
 $27 \mu\text{l} \times 1.093 = 29.5 \text{ mg}$

又クーロメーター仕込時のpHは水系6.6、汚泥系6.9であつた。

以 上